

CONTENTS

本書は Part 1~4 の 4 部構成です。

Part 1 医療者がビジュアル・コミュニケーションを上手に行うために

Part 2 患者さんに伝えるために一人体の形状を描く

Part 3 医療者に伝えるために一より複雑な情報を描く

Part 4 もっと詳しく知りたい方へ

Part 1 では描く前に重要な検討事項を、Part 2~3 では実際に手を動かす際の技術を、医療の具体的な場面を題材に解説していきます。Part 4 は美術に関する補足事項です。

監修の序 3

まえがき 4

Part 1

医療者がビジュアル・コミュニケーションを上手に行うために

Point 1 誰かに何かを伝えるために  9
イラストという方法を活用することについて

Point 2 イラストを描くときの基本的な認識について   17
17
3つの要素：色・形・質

Point 3 目的どおりのイラストを手に入れるための検討事項   23
23
特にイラスト作成を実施・依頼する時に有効なフレームワーク

Part 2

患者さんに伝えるために

人体の形状を描く

Case 1 人体とその姿勢 対象のアウトラインをバランスよく捉える    31
31
Tips 簡略化と幾何形体

Case 2 骨 凸凹を捉える     49
49
Tips 影

Case 3 筋肉 模様を捉える     65
65
Tips 模様

Part 3

医療者に伝えるために

より複雑な情報を描く

Interlude 75

Case 4 血管・リンパ管・神経 奥行きを捉える 79

Tips パース



Case 5 手・足・顔 複雑なアウトラインを捉える 93

Tips 補助点



Case 6 臓器・皮膚 質感を捉える 105

Tips 光



Case 7 様々な応用事例 115

Case 1～6 の技術を組み合わせてより高次の情報を捉える



Part 4

もっと詳しく知りたい方へ

Appendix 1 幾何形体の捉え方 129



Appendix 2 様々な道具 135

